



占い蓮 2022年夏号

占い蓮会報 vol.27 2022年8月 発行

占い蓮 (関東現代易占学研究会) / 日本皓導流加持祈祷神霊学会本部 / WHEEL of FORTUNE REN 株式会社

〒167-0053 東京都杉並区西荻南 3-10-6 西荻スカイビル 5F TEL 03-5941-5921 FAX 03-5941-5926

【ホームページ】https://uranai-ren.com 【e-mail】info@uranai-ren.com



中村皓導先生のお言葉

今まで生きてきた中でこんなにも
幸せを感じたことはありません。

天の奇跡に感謝し、仏陀の如き聖賢
の達したさらなる高みを目指して、
生涯ひた走るつもりです。

会長 中村皓導



2年前の人間ドックで前立腺癌の宣告を受けました。自覚症状はなく、それでもひっそりと存在し始めたものに恐れがなかったといえましょう。なります。仕事のこと、今後のことを考えるとうまく寝付けない日もありました。今年の6月に再検査となり、経過によっては手術となるはずでしたが、ドクターが発したのが「中村さん、癌が消えています！」という驚きの言葉。奇跡が起きたのです。確かにあつたはずの癌が、MRIには写らず、血液からも尿からも検知されませんでした。これも皆様の祈りのお陰です。心から感謝致します。

東京スピフェスに初出展

2022年4月29日、昭和の日に「東京スピフェス」というイベントに出展しました！ タロット・手相・ヒーリング・マッサージ・アロマなど130名ほどのプロたちが浜松町に集合。スタンプリーもあつて入場無料。当日はたくさんの方々楽しんでいらつしました。

スピリチュアルイベントは数多くありますが、私は初めての出展。SNSで宣伝していましたが、どうなることやらと少し緊張していました。幸いお隣も初出展で気さくなかただったので、始まる前に談笑してリラックス。11時に開場すると、お隣は次々とお客様が訪れています。「私のところにも誰か来て〜！」と思つてみると、最初のお客様が。引越つてについて吉方位とタイミングを見てほしいとの依頼でした。こちらのイベントでは九星気学をやつていらつしやる先生が非常に少なく、探してきて下さつたのでとてもうれしかったです。他にも「早期退職して新しい事業を起こしたいのですが？」や「1時間まるまる何でも相談したいのですが？」といったこの機会に聞いてみよう！というのを「九星気学・手相・タロット」を組み合わせてズバズバと、笑顔で（笑）占わせていただきました。タロットカードには厳しくも愛のこもつたアドバイスが詰まっています。

あるかたを占つているときに、特別な体験をしました。神様からのメッセージが天から下りてきたのです。この感覚はお祈りしているときにも感じるものがあるものでしたので、「今年、結婚を意識する男性と出会うー」と断言。結婚を諦めている状況のかたでしたが、「これは伝えたい」という体験をしました。

多くの方々とのご縁を頂けた初めてのイベント、いい経験になりました。8月にも出展したいと思つていきますので、気になったかたはぜひ遊びに来て下さいね！

直弟子 林美姫



林美姫 皓導流 直弟子

●今後の予定
第33回東京スピフェス 浜松町
8/21(日) 入場無料
東京都立産業貿易センター浜松町館
(JR浜松町駅徒歩5分、他)
高円寺で対面占いを致します。
8/19(金)・20(土)
杉並区高円寺南3・45・9
グレースシアM C号(高円寺駅徒歩5分
西友前の路地へ入って左手)
問い合わせ
mikin.ren@gmail.com

蓮カルチャークラブ 日本初のタロット美術館を訪ねる

東京・浅草橋エリアは玩具や人形、手芸用品などを扱う店舗が集まる問屋街。駅のガード下や周辺にはあらゆる雑貨問屋がひしめき合っています。雷門や仲見世が軒を連ねる浅草寺周辺は浅草橋駅から2駅離れているので、浅草というイメージに引きずられてしまうと面喰らう人もいられるかもしれません。そんな日本有数の雑貨問屋街に日本初のタロット美術館ができたこと聞きつけて早速訪れてきました！

株式会社ニチューがプロデュースする「東京タロット美術館」。2021年11月16日にオープンした同館は日本初となるタロットカードの専門美術館です。所有する約3000種類のタロットカードのコレクションをもとに、希少なタロットカードの企画展示を実施するほか、絶版品を含む約500種類のタロットカードを常時展示販売（カードの絵柄はオリジナルのカタログで確認できます）しています。

受付を済ませるとタロットカードを1枚引くことができます。数種類あるのでどれをいただけるかはその日のお楽しみ。館内は珍しいタロットカードの額装が並び、タロットが箱のまま展示されていました。ウェルカムドリンクをいただけるテーブル席では、カードのサンプルを使って占いを試しているお客さんもらつしやいました。オリジナルグッズやセレクトアイテム、タロット関連書籍の販売のほか、展示されているタロットカードも値札がついていれば購入OK。こじんまりとした空間ながら見どころいっぱいでした。一度にいろいろなタロットカードに出合える時間は好奇心くすぐる刺激的なひととき。まずは訪れてタロットの世界にたつぷり浸ってみてはいかがでしょうか。

鑑定師 深山星



20 占い蓮 周年記念

中村皓導会長の仏画Tシャツ・占い蓮お守り

お陰様で占い蓮は20周年を迎えることができました。これもひとえに当店を支えて下さった皆様のお陰と心から感謝申し上げます。

20周年を迎えるにあたりスタッフ一同一丸となり、皆様の期待に応えられるよう更なる飛躍を目指して参ります。

皆様におかれましては今後とも変わらぬご支援とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第1弾



Tシャツ

中村皓導会長の描いた仏画、七母女天観音をTシャツにしました。色はホワイトとアッシュ（グレー）の2色。サイズはMのみですが、大きめなのでゆったり着られます。

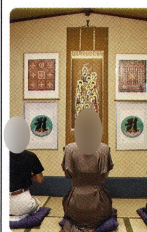
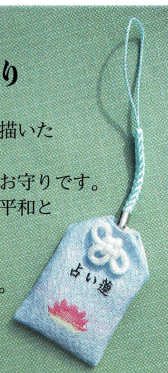
サイズ/M 色/ホワイト、アッシュ
一般価格/5,000円
会員価格/4,500円
※Tシャツは店内に見本があります

第2弾

占い蓮 お守り

水色の柄にピンクの蓮を描いた心願成就のかわいらしいお守りです。皆様の幸せと平和と安寧の願いを込めて作成いたしました。

一般、会員
共に/600円



毎月第4土曜日開催

所沢瞑想坐禅会

毎月第4土曜日、所沢割烹美好さんに人数限定で開催。参加者にお食事の割引あり。

蓮道場 割烹[美好]内 埼玉県所沢市有楽町 13-8
参加費 5,500円
午前の部：11:30～12:30 / 午後の部：13:30～14:30
問い合わせ・申し込み TEL 03-5941-5921 占い蓮 ※要予約

ご祈禱を申し受けております

領価：7,700円から

厄除け、家内安全祈願、方位除け、心願成就、その他のご祈禱
詳しくはお問い合わせください。

易占に導かれて(五)

易占卦第十五番

地山謙



(謙虚な心は徳の幹)

天声一喝、出しやばるな。外卦「地」↓従順、内卦「山」↓不動、と解せられます。

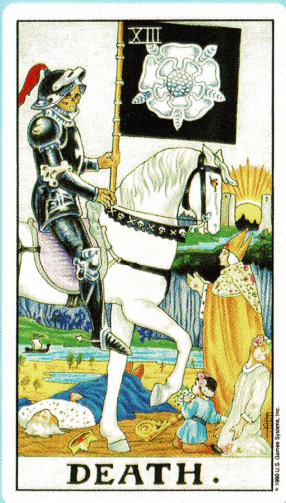
茲に謙虚とは、低い姿勢の内に隠れている至高の徳、となります。謙讓・謙遜も基本的には同様であると思います。言う迄もなく、現代に蔓延する「媚び諂い」或いは「自虐」とは全く異なりま。また、「寛容」と「甘やかし」とは厳に区別すべきです。更に、権利・自由・個性・多様性といった言葉が、我儘・得手勝手口実に使われているのではないかと懸念される場面もあります。最近「日本の劣化」と聞のですが「謙讓の衰退」が一因なのかも知れません。

さて人の成長、自覚・自主・自立・自信と進んだ先、傲慢な人は自賛・自慢と進むようです。肩書きを笠に着て空威張りする人達、その「みつともない」行動の末に、孤立・自滅という「惨めな」結末を迎えるようです。対して、謙虚な人は自重・自戒と進んで自律に至り、恰も、密教に所謂「自灯明」を照らすが如き存在となります。そして、静かなれど熱き衆望、を集めるでしょう。理趣経百字偈第五頌第一【大慈得清淨】に所謂大慈とは、當に「謙虚な心」であると思います。

合掌礼拝 弟子 野村榮仙

タロット解釈

大アルカナ XIII (13) 【DEATH / 死】



タロットカード大アルカナ 22 枚の中で 13 枚目のカードには黒い甲冑を着て白馬にまたがる死神が登場します。描かれているのは死んだ人の魂が辿り着く場所、黄泉の世界です。背景には三途の川が流れ、今まさに死者たちの魂を死神が回収し、川の向こうへと導こうとしています。

13 という数字が割り振られていますし、さらには「死神」という名前も相まってなんだか薄気味悪いカードですね。けれどもここでいう「死」は特別なことではなく、「生きていたら誰もが当たり前にいつか迎えること」として描かれています。新しい季節が始まるためには終わる季節があるように、当たり前に流れていく「始まり」と「終わり」です。終わることに抵抗したところで仕方ありません。ずっと夏の季節であってほしいと思ったところで叶うはずもないのです。

川の向こうには門があり、太陽のまばゆい光が見えます。今はその光を見ている人は誰一人としていませんが、やがて終わりがもたらされたと理解し、手放すことができれば、新たな始まりに向かえるのです。むしろ言いたいのは「これから新しいことが始まるよ」。そのために、「古く終わったものを早く手放しなさい」です。終わっているものが見当つかないかたには断捨離をお勧めする場合もあります。

お金ザクザク？ 奇跡を呼ぶタロットカード活用

ド活用法

タロットカードⅥの「恋人たち」のカードには「宝くじが当たる」という意味があります。本来は「思いがけない喜び」という棚ぼた的なキーワードがあるのですが、そこから「宝くじ」へと結びつくのです。

過去にも、中村会長の授業で「恋人たち」のカードがでた生徒さんがいて、宝くじを買ってみたら見事当選しました。いくら当たったのかは伺いませんでしたが、ものすごく喜んでいらしたので、結構な額だったのではないかと思います。その頃当店は喫茶店もしていたので、その生徒さんはその場にいらしたかた全員にコーヒーを振る舞って下さいました。

そして7年ほど前には会長の鑑定で見事7000万円の高額当選を果たしたかたもいらつしゃいます。イニシャルNK様。会長の鑑定を受けられて「15分以内に30万円分の宝くじを買いなさい」と言われたそうです。NK様は素直に行動し、当選を果たされました。その後、ご丁寧にお手紙を頂戴致しました。お手紙にはその7000万円のおかげで夫婦共に救われましたとつぶられていました。当



店から一番近い宝くじ売り場で買われたのですが、「7000万円出ました」としばらく貼り出されていたのも記憶に新しいところです。

宝くじで高額当選すると人生踏み外す、不幸になるなどという話も聞きますが、現在はそういった事態が起こらないように高額当選者には手引き書が渡されるそうですよ。非売品で見ることができませんが、国立国会図書館には収蔵されているとのこと。一度見てみたいものです。

私のとっておきの時間

いよいよ夏本番！ 暑い街からエスケープして気持ちのリフレッシュできるお気に入りの時間を持てたら幸せ。日々の暮らしをステキに彩る「とっておきの時間」を北畑貴皓先生に教えてもらいました。

馬と過ごす休日がもう25年以上続いています。子どもの頃から体を動かすことと動物が好きで、高校卒業までは体操競技を続けていました。その後もテニスや水泳、ゴルフのスクールに通っていましたが、あるとき、家の近くに小さな乗馬クラブを見つけたので見学に行ってみました。すると、ちょうど馬に乗っていた人が下りてきて、自分の馬に乗ってみるようにと声をかけていただいたのです。さっそく乗ってみました。馬は全く動きません。観光牧場ののんびりと歩く馬に乗るのととは違うんだと感じ、その後すぐに乗馬クラブに入会。レッスンを受け始めました。最初は常足から速足まで。次に駆け足の練習です。

しばらくたってから北海道に友達と旅行に行き、新千歳空港そばのノーザンホースパークで障害飛越競技を見ました。そのとき、すぐに「これがやりたー！」と思いたち、旅行から戻ってすぐさま練習をスタートさせました。



110cmのコースを回る2級検定を目標に定め、毎週末、乗馬クラブに通うこと2年。目標としていた2級ライセンスを習得することができました！ その後も機会があれば競技に参加し続けました。

馬術の競技は、障害飛越の他に馬の歩様の美しさを競う馬場馬術競技や野外を走行する総合馬術もありますが、アイルランドのアスレチックで初めて駆け足から障害を飛越したときに感じた馬の力強さに魅力を感じ、今でも障害飛越を楽しんでいます。

現在所属するクラブでは、障害飛越をする馬が数頭います。性格も運動能力もそれぞれですが、いろいろな馬に乗れることも楽しみの一つ。感覚が敏感で障害を見ただけでテンションを上げて、どんどん障害に向かってスピードを上げて走る馬もいれば、のんびりとした性格で、周囲の環境に全く動じないマイペースな馬もいるなどさまざまです。普段からブラッシングをしたり、餌を与えたり世話をし、良くコミュニケーションをとっていると、乗っているときに必ず協力してくれます。人の気持ちに寄り添い、助けてくれる馬に、いつでも感謝の気持ちでいっぱいです。

直弟子 北畑貴皓

夏にヒヤッ！

占い蓮の怪談2022

世の中には説明のつかない奇妙なことがあるのですが、占い蓮で私が経験した数ある中の一つを書かせて頂きます。

10年以上前の話です。ある日の夕方、そろそろ店を閉めようかともう一人のスタッフと営業終了の準備をし始めたところ、パソコンのあたりで

「リンリン」と鈴が鳴りました。2人して「なぜ鈴が？」と奇妙に思い、パソコンのあたりを見たのですが、鈴はおろか鳴るようなものはないのではありません。すると今度は「リンリン」と電話が鳴ったので、受話器を取るとプチッと切れてしまいました。そんなに待たせたわけでもないのに……。なんとく2人して嫌な気がしてきたので、急いで店じまいして駅に向かいました。

当時は店が吉祥寺にあり、駅までは7分ほどかかりました。2人でたわいない話をしながら駅に向かうと、私のバッグがツンツンと引っ張られました。「何ですか？」と聞くと「何が？」と。「私のバッグを引っ張りました？」と聞くと「そんなことしてないよ」と。その後もまたバッグをツンツンと引っ張られ、もう一度聞いてみると「バッグ、触つてないよ」と言います。いよいよ怖くなり「とにかく今日は何か変だからまっすぐ家に帰りましょうね」と言つて中央線の駅で別れました。その頃、私は埼玉から通っていたので、乗り換えのために新宿駅で降りるといきなり「ドーン！」とかなり強く突き飛ばされ、私は転んで膝をついてしまいました。後ろを振り返ってもそれらしき人はいません。そもそも私は駅構内の階段に1人でした。とにかく帰らねばとドキドキしながら帰ったと思います。

翌日、お店に出動してすぐにそのことを昨日一緒だったスタッフに話すと、彼女は家に帰った途端、なんとも言えないだるさに襲われ、洗顔すらできなかったと。

後日中村会長に報告すると(当時の会長は今以上に忙しく、一週間海外出張でいないなんてこともありました)「ああ。お客さんたちには自覚がないのだけど、背負っている霊とかをうちの店に落としていくんだよね。いつもは僕が黙って祓っているんだけど、いなかったからね。もう大丈夫だよ」と。そうだったのかと納得するような出来事でした。ただ、新宿駅で突き飛ばされた時の衝撃は今でも生々しく記憶に残っています。

直弟子 佐々木皓咲

